

# ■活動の名称 回遊と滞留空間の分離による魅力あるまちづくり

## 1:基本情報

### ① 主催者

秋葉原電気街振興会

### ② 実施場所(エリア)

特別区道千第682号(ラオックス秋葉原本店(千代田区外神田1-2-9) ~ オノデン(外神田1-2-7)



©Open StreetMap contributors

### ③企画から実施までの活動の流れ(活動に必要な申請書関係含む)

#### 【企画検討】

5月13日:総務委員会にて公募提案に向けた企画検討

5月16日:理事会にて公募提案に向けた企画検討

7月 8日:総務委員会にて採択後の企画検討

7月18日:理事会にて採択後の企画検討

#### 【準備】

5月28日:千代田区景観・都市計画課と第1回打ち合わせ(提案書について)

6月 5日:千代田区景観・都市計画課と第2回打ち合わせ(提案書について)

6月16日:千代田区景観・都市計画課と第3回打ち合わせ(諸準備について)

6月23日:千代田区景観・都市計画課と第4回打ち合わせ(道路使用許可等について)

6月23日:万世橋警察署と第1回打ち合わせ(サインの多言語対応、役割分担、ゴミ対策、緊急車両対応等)

7月10日:千代田区景観・都市計画課と第5回打ち合わせ(活動の進め方について)

7月28日:千代田区清掃事務所と打合せ(ゴミの集積、回収について)

8月 4日:秋葉原タウンマネジメント株式会社と打合せ(のぼり等デザインについて)

8月 7日:IBSと打合せ(実施に向けた進め方、必要書類、広告物について)

8月21日:ラオックス、オノデンと打合せ(ベンチ、のぼり等設置について)

8月25日:秋葉原タウンマネジメント株式会社と打合せ(のぼり等デザインについて)

9月 1日:秋葉原タウンマネジメント株式会社と打合せ(申請について)

9月 3日:千代田区環境まちづくり総務課占用係へ申請(道路占用許可申請書、屋外広告物表示・設置届提出)

9月 4日:万世橋警察署へ申請(道路使用申請書提出)

9月 9日:万世橋警察署へ申請(道路使用申請書提出)  
9月12日:千代田区景観・都市計画課へ後援名義申請(千代田区後援名義使用申請提出)  
9月22日:ラオックス、オノデンと打合せ(ベンチ、のぼり等設置について)  
9月26日:備品発注  
9月29日:千代田区景観・都市計画課、オノデン、ラオックスと打合せ(事業役割等の確認について)  
10月3日:千代田区清掃事務所と打合せ(ゴミ箱借用、ゴミの回収確認について)  
10月3日:ラオックス、オノデンと打合せ(ベンチ、のぼり等設置について)  
10月5日:広報の開始

#### 【活動実施】

10月 5日:秋葉原歩行者天国と連動して活動実施。

13時スタート、17時終了。

開始30分前より10台の簡易ベンチ、5台の分別ゴミ箱を設置。

告知は10本ののぼり、2枚のパネルで行う。

終日70～100%のベンチ利用と大いに活用され、歩道の混雑も大分緩和された。

アンケート(日本語、英語、中国語)は24名の回答。

撤収も30分で終了。事前の準備効果があらわれた。

10月 7日:オノデン、ラオックスと5日及び次回の活動打合せ

10月12日:活動実施(上記と同じ。)

利用率は80～100%。アンケートは30名の回答。

10月17日:オノデン、ラオックスと12日及び次回の活動打合せ

10月19日:11時45分、降雨予報のため歩行者天国中止の連絡あり。

それに伴い、当活動も中止。

10月26日:8時頃、雨天予報のため、歩行者天国中止の連絡。

当活動も中止。

10月28日:千代田区清掃事務所へゴミ箱を返却。

### ③ 活動の内容

多くの歩行者でにぎわう秋葉原エリアにおいて、道路空間に滞留の場を設けることで、来街者の回遊性の向上及びくつろぎ空間を提供した。また、分別可能なゴミ箱を設置して、道路の美観にも貢献した。

○ラオックス店頭(活動実施期間外)



○ラオックス店頭(活動実施中)



○分別ゴミ箱(5種)



○終了後の分別ゴミ(5種、回収後ゴミ集積所へ運搬)



○実施中スナップ①



○実施中スナップ②



○会場入り口 のぼり、バリケード



○会場 のぼり



## 2:活動の実施の仕方

### ①活動の実施体制

#### 【主催】

・秋葉原電気街振興会:活動の企画・準備・実施

#### 【協力】

・オノデン:活動の企画・準備の協力、活動の実施の協力

・ラオックス:活動の企画・準備の協力、活動の実施の協力

・秋葉原タウンマネジメント株式会社:活動の企画・準備の協力、活動の実施の協力

・千代田区:広報の協力及び後援

・千代田区清掃事務所:備品の提供

### ④ 活動の収支状況

#### 【収入合計:27.6万円】

・千代田区活動支援金:27.6万円

#### 【支出合計:27.6万円】

・ベンチの購入費:10.9万円

・備品の購入費:0.7万円

・滞留空間製作費用(のぼり旗・パネル等):11.0万円

・人件費:4.5万円

・その他;0.5万円

### ⑤ 広報活動の内容

・区広報紙への掲載

・秋葉原電気街振興会HPでの周知

・秋葉原タウンマネジメント株式会社 HP「アキバ」での周知

### 3:今後の活動の展望

#### ①今回の活動を通じて実現した「地域課題の解決」、「新たな価値の創造」

##### 「地域課題の解決」

昨今、実施エリア付近の歩道は多くの来街者が滞留することによる混雑が発生し、通行が困難となる場面が見られたが、今回歩行空間と滞留空間の分離をした事で、歩道の混雑が緩和した。

また、休息スペースを設けることは休む場所が少ない来街者に大いに活用され、アンケートにおいても取組に満足の回答が9割以上となるなど、来街者の満足度を高める滞留空間の実現をすることができた。

同時に実施した分別ゴミ箱の設置により多くのゴミを回収することができ、クリーンで魅力ある街づくりにも、貢献することができた。

##### (アンケート54名の内容)

性別：男性43名 女性11名

出身国：日本37名 中国14名 他3名

来街目的：買い物31名 イベント8名 観光8名 他7名

来街回数：1回11名 2回4名 3回4名 4回以上34名 未回答1名

利用時間：15分以内32名 15～30分16名 30分以上6名

利用の仕方：のんびり39名 談笑9名 荷物整理3名 他2名 未回答1名

本取組の満足度：満足50名 やや満足4名

本取組の継続性：継続希望50名 どちらでも良い4名

##### 「新たな価値の創造」

この事業を行う上で、千代田区景観・都市計画課、千代田区清掃事務所、万世橋警察署、秋葉原タウンマネジメント株式会社、オノデン、ラオックスを始め、多くの団体にご協力をいただき、街での連携が深められた。

#### ②活動を進める上での課題や苦勞したこと

10月の毎週日曜日の歩行者天国開始時に開催予定であったが、降雨のため2回の実施(5日、12日)にとどまった。天候に左右される事業であったため、直前まで調整が発生した点で苦勞した。

急増する来街者の方たちに対し、次は、秋葉原に足を運んでいただけるような気持ちの良い街を作ることが必要であると感じた。例えば、スムーズな回遊性、休憩スペース、ゴミの収集処理、観光バスの乗降場所、駐車スペース等、安全・安心な街の向上のため、「何から出来るかを検討すること」から取り組む。

今回の取組は上記の各団体様のご協力、ご支援で実施出来たこと、感謝申し上げます。

#### ③:①や②を踏まえた今後の活動に向けた方針

アンケート結果により、9割以上がこの取組に満足し、継続的な活動を望んでいることが分かったため、今後は、上記を踏まえ、継続的にエリアを広げたり、開催時間を伸ばすなど、気持ちの良い環境街づくりをめざして、活動を進めていきたい。